

そよかぜ



「そよかぜ」…このタイトルのように佐久市に 社会教育の風を吹かせ、
生涯にわたって学び続け、互いに支え合い、高め合う市民を目指していきましょう！

★みんなの『居場所』について考える★

〔社会教育委員会議 活動テーマ〕

令和3年7月に開催した社会教育委員会議で、地域や活動の中で抱えている課題や問題点を出し合いました。

「地域の交流やコミュニケーションの機会があればいいねえ。」

「活動メンバーが高齢化していて人材不足です。」

「求めている人へ必要な情報を届けることができていない。」

「若者や高齢者など、悩みを抱え、支援を必要としている人へのサポートが不足。」

「災害時における社会教育施設の対応は十分か。」

「多世代が集まって討論できる場がほしい。」

「子育ての息抜きや老後の楽しみとして、活動を必要としている人の参加。」等々

これらの課題や問題点に社会教育委員としてどのように関わっていけば良いのか令和3年12月の会議で話し合いました。そこで、社会教育委員会議として共通のテーマを決めて活動しようということになりました。上記の課題や問題点について共通するものとして『居場所』が挙げられ、これを活動テーマにしました。そして、令和4年3月、佐久市にある居場所について広く把握するために「コミュニティー・スクール」「子育て支援」「多世代交流」の三つのグループに分かれて、調査研究を始めました。



活発なグループ討議と発表

次ページからは、各グループの思い・活動・展望です。

■「地域で子育て」というけれど、何をしたらいいの？

〔コミュニティ・スクールグループ（井澤・中澤・原・依田）〕

皆さんはコミュニティ・スクールをご存じですか？

平成29年度より、各小・中学校に設置されていますが、学校運営協議会や〇〇応援団などと呼ばれていたりします。

「家には小さい子がいないから、学校のことはわからないなあ」とおっしゃる方もいらっしゃると思いますよね。そうなのです。小・中学校に通う子どもと同居していない世帯が、かなりの割合を占めていますし、実際、子や孫が卒業してしまうと、学校との関りがほとんどなくなり、学校という場所は急に敷居が高くなります。

今まではそれが当たり前のことでした。ですが近年、よく耳にし、目にするのが「地域で子育て」という言葉です。少子化は地域や家庭、学校などの多くの環境を変化させています。いじめや不登校などに社会的な関心が高まったことで、学校は「開かれた学校づくり」の必要性が求められました。コミュニティ・スクールは、「開かれた学校づくり」のために、学校・家庭・地域の皆さんが力を合わせて、地域性を生かした特色ある学校活動を進め、新しい時代を切り拓く児童・生徒の「たくましく生き抜く力」や「豊かな心」を育てていく取り組みです。主な活動に、登下校の見守り・読み聞かせ・学校行事や授業の支援などがあります。

社会教育委員会議では、コミュニティ・スクールが、子どもたちの学びと学校を支えると共に、地域の皆さんの様々な知恵や能力を発揮できる場になってほしいと考えています。学校の先生方は異動で変わってしまいますから、それぞれの地域が支えるものは長く続けられる活動にしなければなりません。



「地域で子育て」というのは、決して特別なことをするのではなくて、日常の中で子育てについて意識することなのだと思います。自分の子育てがひと段落して、少し余裕ができたと感じられる方は、是非、地域の子どもと子育て家庭に、今より少しだけ多く関心を持って接してみてください。そして無理のない範囲で、コミュニティ・スクールや地域の子育て支援活動に参加してみてください。

地域の皆さんが楽しみながら、子どもたちの成長と学びに寄り添い応援することが、これからの時代を担う子どもたちの元気の源になるのです。（依田 とく代 委員）

■「子育て支援」に関する居場所

〔子育て支援グループ（奥村・和光・田宮・小山）〕

今年度、第一回目の会議に、居場所に関して個々で調査をしてきたことを持ち寄り、それぞれ報告致しました。子育て支援に関してどんな居場所があって、どんな活動をしているのか、等を報告し合い、「そんなところがあるんだね」と新たな発見も色々ありました。ヒアリングしてきた中から、「解決すべき具体的な課題」をピックアップ

プしたところ、次の3点に絞られました。

- ①「居場所」の存在や支援が、必要な人に周知されていないこと。
- ②運営するのに必要な費用の捻出（ボランティアや持ち出しでは続かないこと）。
- ③不登校児童・生徒の出席の問題について（個人でやっている不登校児童・生徒の居場所、塾、ホームスクーリングでは、現状、学校の出席扱いにはならないこと）。

この3つの課題について、まず、調査・研究を次のような手段で深めていくことになりました。①では、アンケートにより、活動団体の主催側への聞き取りと、参加する側への聞き取りをする。②に関しては、活動団体の主催側に費用の捻出の方法や、予算面で困っていることなどを聞き取ること、参加者（利用者）側へは、参加（利用）するに当たって、参加（利用）しやすい価格などを聞き取ること、提供する側と受ける側でのニーズを知る。③については、活動団体、主催側へ、「どうなっていくことが望ましいのか」などの思いを、不登校の児童生徒、保護者へ、現状での思いや今後の願いを聞き、さらに行政の係へ今後の展望などについて話を聞き取り、その上でどんな対策があるのかを考察していくことにしました。

そして、そこから具体的な提言や施策を、社会教育委員会議として出来ることを発信したり、改革していかなければと思っております。すぐに結果を出せるであろう課題から、少し長期的な解決になってしまうものもあるかと思いますが、みんなの「居場所」をより心地よい場にする、それぞれの目的に合った、安心して居られる場所であるためにはさらにどうしていったらよいのか、みんなで思いをめぐらせ、生涯学習課と社会教育委員、今大変ワクワクしながら活動を進めているところです。みなさんのご意見ご要望もどんどん聞かせていただけると嬉しいです。（田宮 貴子 委員）

■居場所だと思う「場所・ひと・時」

〔多世代交流グループ（窪田・畠山・佐々木・柳澤）〕

例えば、悩みを相談できる人と過ごす時間も居場所のひとつです。地区活動やスポーツなどの趣味を共有することも居場所になります。「多世代交流グループ」では、各委員の様々な視点で探していこうと思います。身近で体験した、交流による居場所づくりの活動をご紹介します。



①佐久市市民活動登録団体によるコラボ企画

ゆるり運動会（子育て世代）×大沢地区保存会（旧大沢小学校）×TEL読（医療）

「佐久の方言ラジオ体操」（予約不要・誰でも参加可）

ラジオ体操の後、毎回テーマを決めて交流。保存会による里山散策や、図書室で「地域のお宝」について話し合う。子どもたちは校舎を探検！今後はドクターの市民活動「TEL読」で読書会を予定。日時：毎月第1（土） 9時～10時頃 旧大沢小学校前

②佐久穂町生涯学習館茂来館「ブックスタート事業」×アーティストの市民活動
「絵本をうたおう！」(年1回・入場無料)

湯沢かよこさん(長野県出身)高見澤一樹さん(佐久市出身・佐久穂町)が中心となり、絵本にBGMをつけ歌ったり踊ったり♪子どものアイデアを取り入れリズムを作る。イベント後、七夕の短冊を飾り広場で遊びながら過ごせる。「母になって母の苦労や喜び、噛み締めています。だからこそ、もっと伸び伸び楽しく育児に繋がるように、子どもも楽しめて、お母さんお父さんもリフレッシュできれば」と湯澤さん。

③高校・大学生による多世代交流

「佐久平地域まるごとキャンパス(佐久市主催)」プログラム内より

◎「孤立という病を地域で改善する社会的処方実験プロジェクト」

受入団体：NPO法人うすだ美図

独居高齢者へアプローチするため、昨年から看護大生が企画。10月イベントに向け、学生が医療従事者らとともに具現化していく。

◎「SAKUフェス」受入れ団体：NPO法人さくのわ花物語

学生による企画で、公民館活動や、ろう太鼓、キッズダンスなどに呼びかけステージを通じて交流。マルシェやバーンフェスティバルとのコラボ開催で多世代へアプローチ。11月3日予定



現在、委員それぞれが、多世代交流から始まる「居場所」に出向いてヒアリングしています！

☆中学校部活動の地域移行先

(NPO法人もちづき総合型クラブなど、地域のスポーツクラブ)

☆公民館活動(子ども公民館など)

☆公共空間の活用(佐久市コスモホールの学び合いシリーズ「平日コスモ」など)

☆高校生、大学生が活躍する地域活動(佐久平地域まるごとキャンパスなど)

(佐々木 愛歌 委員)

■ 編集後記

みなさん初めまして。佐久市教育委員会生涯学習課 清水と申します。私は佐久市の職員採用試験に応募した際、「『独りぼっちだ』と感じる人がいなくなればいいな」という思いで市職員を志しました。入庁から6年が経った今、誰もが心の拠り所となる「居場所」を感じながら生活できる社会を目指し、社会教育委員の皆さんと活動できることを嬉しく感じています。活動はまだ始まったばかりです。まだまだ経験不足の若輩者ですが、皆さんの「居場所づくり」をバックアップできるよう奮闘して参ります！！

【発行】佐久市社会教育委員

〒385-8501 佐久市中込3056 佐久市役所南棟3階 佐久市教育委員会 社会教育部 生涯学習課

☎ 0267-62-0671 FAX 0267-64-6132 e-mail syogaigakusyu@city.saku.nagano.jp